

竹島をめぐる問題①

1 我が国の立場

●竹島は、歴史的事実に照らしても国際法上も明らかに日本の固有の領土であるという日本の立場は一貫しており、冷静に粘り強く対応していく。

2 最近の韓国政府関係者等（肩書きは当時）による竹島上陸の状況

◆2012年

8月10日 李明博（イ・ミョンバク）大統領

8月19日 孟亨奎（メン・ヒョンキュ）行政安全部長官、
李秉錫（イ・ビョンソク）国会副議長他

→我が国は、8月21日、①関係閣僚会合を開催、②国際司法裁判所提訴を提案。

10月23日 劉承ミン（ユ・スンミン）韓国国会国防委員長、
他国防委員計14名

◆2013年

6月5日 韓善教（ハン・ソンギョ）セヌリ党議員

8月13日 金ハングル民主党代表、他民主党議員計20人

8月14日 金乙東（キム・ウルドン）セヌリ党議員

◆2014年

1月29日 慶尚北道知事

◆2016年

7月25日 文在寅（ムン・ジェイン）「共に民主党」前代表（非議員）

8月15日 羅卿ウォン（ナ・ギョンウォン）セヌリ党議員率いる
「国会独島訪問団」計10人

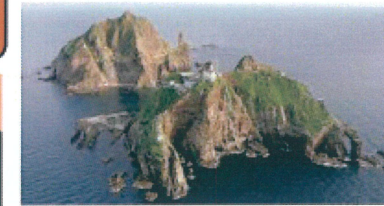
→これらの上陸に対し、我が国から直ちに嚴重な抗議を実施。

3 その他の動き

◆2016年4月 政府と民間による竹島教育強化のための協力委員会を発足。

◆2016年9月 西島住民宿所の既設のクレーンを最新型に交代、設置。

→我が国から直ちに嚴重な抗議を実施。



竹島上陸者数の推移
(韓国外交部ホームページ)

年	竹島上陸者数
2006年	7万8152人
2007年	10万1428人
2008年	12万9910人
2009年	13万5376人
2010年	11万5074人
2011年	17万9621人
2012年	20万5778人
2013年	25万5838人
2014年	13万9892人
2015年	17万8758人
合計	151万9827人

竹島をめぐる問題②

4 韓国政府が計画中の竹島に関する主な事業（各種報道より）

（1）海洋科学基地建設計画

韓国海洋研究院が竹島の北北西側 1 kmの海上に大規模な施設建設を計画。2011年に入札が行われ、2012年末に構造物の建設が終了。海上への設置は更に1年ほどかかるとされていたが、2016年11月現在、計画は保留されている。

（2）防波堤事業計画

竹島訪問客の増加による旅客船の安定的な接岸等のために防波堤を拡大する事業。国土海洋部の計画によれば、海水通過が可能な親環境的な防波堤（長さ265m、幅20m）を建設するとともに、波力発電設備、水中観覧室、展望台等を設置するとされている。2011年、国土海洋部は防波堤建設工事事業の実施設計を担当する会社を選定し、本契約を締結した。しかし2016年11月現在、計画は保留されている。

（3）現場管理事務所建設計画（入島支援センター）

韓国の地方自治体である慶尚北道が、天然保護区域の毀損防止、訪問客の安全管理、研究調査活動などを支援するために、現場管理事務所の建設を計画（3階建て、480㎡。）。2012年末に実施設計を終了し、2013年に着工予定とされた。しかし2016年11月現在、計画は保留されている。

→報道等により確認した場合は、我が国から直ちに嚴重な抗議を実施。

5 韓国軍の竹島防御訓練実施

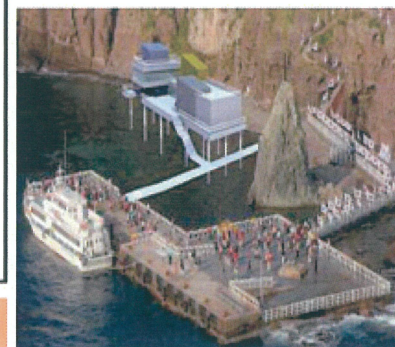
2014年	11/24	韓国軍が竹島防御訓練を実施
2015年	5/15	韓国軍が竹島防御訓練を実施
	11/5	韓国軍が竹島防御訓練を計画
2016年	6/8	韓国軍が竹島防御訓練を実施



海洋科学基地建設計画
イメージ図(報道資料)



防波堤事業計画
イメージ図(報道資料)



現場管理事務所建設計画
イメージ図(報道資料)